平成26年度事務事業評価表(平成25年度振り返り)

		-	-					
政策名	地球環境にやさしいまち		施策番号·名	14	水と緑にふれあうまちづくり	基本事業番号·名	14-01	水辺環境の保全と活用

	所管課係名					対象指標		活動指標		成果技					事務事業	全体			一般財源分				
事務事業	所管課長名		事務事業の概要		事務事業の目的	(対象の数値	指標化)		(手段の数値指標化)		との結果の 標化)	事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータルコスト				特定	財源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議 (27年度に向けた	
番号	事務事業名		(根拠法令等、財源、上乗、形態)		事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値 指標 (単位)		実績値	指標	実績値	① (千円)	② (千円)	①+②	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等		事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	方向性等)		
	環境政策課		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的				平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性		27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:マップの印刷製 本費用は、総合交付金対	平成25年度	26年度以 降方向性 現状維持 降方向性 現状維持 降方向性 現状維持	説明欄:
	深境政策球 みどりと公園担当 環境政策課長 小島 信行	根拠一法令等	(国) 環境基本法 (市) 環境基本条例 (市) 湧水等の保護と回復に関する条例 (市) 環境基本計画 (市) 緑の基本計画	— 対 —	象 市民、自然環境	_	27		27		(個所)	621	153	774	必要性 説明欄: なってい	4 有効性 3 さらなるコス る。事務事業	達成度 3 ト削減は難 は調査内容	効率性 3 しい状況と を含め継続		象(249千円)	_	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄:さらなるコスト削減は難しい状况となっている。事務事業は調査内容を含め継続	
			(川) 林少巫平山画	手	段 LAL LISSAMENTH		平成24年度		平成24年度	新たに湧水係		平成24年度	平成24年度	平成24年度		マロック マロック マロック マロック かっぱん アロック かんしん アロック アロック アロック アロック アロック アロック アロック アロック	平成24年度		平成24年度	実施するが、調査内容等の精査を加えた上で 市民、団体の理解と協力を得られるよう分か りやすい情報提供をしていく。			
14-01-01		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内	水位・水質観測容	湧水数	27	湧水保存台帳に ある整備個所	27	左台帳に敷備	1	158	137	205	平成25	年度は「東久 副・発行し、	留米の湧水				150	平成25年度は「東久留米の湧水マップ」を 1万部印刷・発行し、情報提供を進めた。	
	湧水地調査事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)				(個所)		(個所)	所	(個所)	196	107	299							190		
	伤小地响且ず未		□ 直営(委託無) □ 全部委託				平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度					平成23年度		平成23年度		
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助·助成金	意	意図 市民の生活環境の中にある水と緑を減らさないようにする。	ŧ.	27		27	0	0 157	197	354	4		_		157					
			□ その他()				(個所)		(個所)		(個所)									光阳棚 河川弥社栗花の			에 보다 사건 보다 보다 사건
	施設管理課 道路河川施設担当		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的 東京都と市が「河川維持業務の委託に関す		象 市民		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性	現状維持	27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:河川維持業務の 委託に関する協定外の照 明設備の補修費及び電気	平成25年度	26年度以	説明欄:
	施設管理課長 小林 徹雄		来京都と川が「門川維行来伤の安託に関する協定」を締結		手段 河川管理者(東京都)との河川維持業務の委託に関する協定に基づく河川区 域内の清掃、除草、植栽管理及び軽微 な補修を実施した。		23,341 (m²)		(回)	9 度	(日)	15,068	8,031	23,099	説明欄: づき事業	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄:河川管理者 (東京都) との協定に基 づき事業を執行しているため、事業内容等の 改善するよりも、事業費に対する補助金額 (限25は12,510千円、旧24は12,620千円、旧23は13 11,860千円)を増額するよう要望すべきであ	東京都) と るため、事	 の協定に基 業内容等の	料金 2,518		必要性 有効性 道 説明欄:		
				手			平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	(H25/112		平成24年度		平成24年度		1		
14-01-02		財源	□ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額	内		版いこいの水豆 面積	23,341		植栽地の草刈及び除草回数	9	14,912	8,531	23,443	り、事務事業としては今後も存続する必要がある。 照明設備の補修、電気料金については、協定		2,401							
	いこいの水辺事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)				(m²)			(回)				外であり	の柵修、黾気、一般財源で	補填する必	要がある。						
		中央	□ 直営(委託無) ■ 全部委託		意図 瀬川敷利用者に親しみやすく、身近に 楽しめる水辺環境の形成維持を図る。		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度					平成23年度		平成23年度			
		形態	□ 一部委託 □ 補助・助成金 □ その他()	意			23,341 (m²)		(回)			(回)	14,381	9,247	23,628					1,761			
	環境政策課		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的		市民、宅地の所有者への浸透施設補助	J	平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性		27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 降方向性 現状維持 27年度以 降方向性 現状維持	説明欄:
	みどりと公園担当 環境政策課長	根拠	(国) 環境基本法 (市) 環境基本条例 (市) 湧水等の保護と回復に関する条例		手段 ・ 浸透ます設置者に対する補助金制度 内容	-	2	2 3		100	78	153	231	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄: 市宅地等開発条例に基づく宅地開発				78	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄:市宅地等開発条例に基づく宅地開発	3 <u>発</u>			
	小島信行	-	(市)環境基本計画 (市)緑の基本計画	_			平成24年度		平成24年度	浸透施設設置率	(%)	亚成24年度	亚成24年度	亚成24年度	既存住宅への設し ピーク時に比べる。市 減っている。市 の自然環境に対	への設置につ	設は設置されている。 かいての補助であるが、 いた設置する系句者が	亚成24年度		平成24年度	の場合は、雨水浸透施設は設置されている。 既存住宅への設置についての補助であるが、 ピーク時に比べると施設を設置する希望者が	•	
14-01-03		財源	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額			対象宅地		既存住宅への浸 1 透ます設置件 数、設置基数	ŧ 9				十成244月			ている。市民等と協働する中で、市民へ 然環境に対する理解と協力及び啓発を図		で、市民へ び啓発を図	十队24千及		十成24千茂	減っている。市民等と協働する中で、市民へ の自然環境に対する理解と協力及び啓発を図	
		1 1	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)						(件)		(%)	52	137	189	る必要が 事業の見	ある。市民環 直し等を図り	境会議など 、継続実施	と連携し、 する。			52	る必要がある。市民環境会議などと連携し、 事業の見直し等を図り、継続実施する。	
	雨水 貯留 浸透 施 設 形置補助事業		■ 直営(委託無) □ 全部委託				平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度				平成23年度		平成23年度			
		事業形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	意	市民の生活環境の保水の確保、地下水 の涵養の水循環システム確立	:	10		20		100				-								
			□ その他()				(件)	(件)		(%)	511	197	708							511			
	施設管理課		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的	5	每 事立契河川北條原准庫明		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性	現状維持	27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 降方向性 現状維持 27年度以 降方向性 現状維持	説明欄:
	管理調整担当 施設管理課長 小林 徹雄	法令等	番内の河川の氾濫、いつ水による災害を 除して住民の福祉を増進するため、これら 河川改修事業の早期達成を要望し、その実 現に協力することを目的として都内に知り る全ての自治体により結成されている。	£	対象 東京都河川改修促進連盟 手段 ・国、都、国会議員への要請行動 ・促進大会の開催	-	(団体)	1	(回)	2	(回)	102	1,217	1,319	必要性 説明欄: している	要性 4 有効性 3 明欄:東京都河川改 ている加入団体19	達成度 3 効 で修促進連盟は 区22市2町				102	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄:東京都河川改修促進連盟は河川を有している加入団体19区22市2町1村で共 1 <t< td=""><td></td></t<>	
				┙.			平成24年度]	平成24年度	国、都、国会		平成24年度	平成24年度	平成24年度	の改善・	とっている連 改革の余地は に行う必要/	無い。河川	整備は今後	平成24年度		平成24年度	同歩調をとっている連盟であり、当市単独で の改善・改革の余地は無い。河川整備は今後 も継続的に行う必要がある。事業費の一部	
14-01-04			□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内	・ 治水事業全国大会へ出席	東京都河川改修促進連盟	1	国、都、国会議 員への要請行動	2	国、郁、国宝 議員への要請 行動	2	108	1,185	1,293		占用料等が充	当されてい	る。			108	に、道路占用料等が充当されている。	
	東京都河川改修促追連盟参画事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)				(団体)	j	(回)	. 1 200	(回)												
	庄 血 少 曲	击米	□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	度	平成23年度		平成23年度						
		事業 形態	□ 一部委託 □ 補助・助成金 ■ その他(負担金)	意	河川氾濫、溢水による災害を防止 河川改修事業の早期達成要望		(団体)		(回)		(回)	108	1,285	1,393							108		
			_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				(四件)		(11)														

平成26年度事務事業評価表(平成25年度振り返り)

政策名 地球環境にやさしいまち 施策番号・名 14 水と緑にふれあうまちづくり 基本事業番号・名 14-01	水辺環境の保全と活用
--	------------

所管課係						対象指標		活動指標		成果指標						事務事業全体			一般財源分			
事務事業	所管課長名		事務事業の概要		事務事業の目的	(対象の数値指標化)		(手段の数値指標化)			(意図したことの結果の 数値指標化)		人件費 (理論値)	トータルコスト				4	定財源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議
番号	***********		(根拠法令等、財源、上乗、形態)		事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	15.12	実績値	15.15	実績値	16.12	実績値	(実績額)	2	1)+2		事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等		事業費)	事業費 (実績額) 事務事業の方向性、項目別評価		(27年度に向けた 方向性等)
	事務事業名					指標	(単位)	指標	(単位)	指標	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)			(千円	事業費の概要説明	(千円)	及びその理由等		
	施設管理課		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務		象 自然物 (河川・水路)		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年原 降方向		27年度以 降方向性 現状	維持 平成25年	説明欄:	平成25年度 降方		説明欄:行財政改革ア クションプラン1
	道路河川施設担当	根拠	(市)公共物管理条例	一对美	N HWWW (Little Model)		13,810		48		48	9,814	973	10,787	7	性 4 有効性 4 3				9 814	4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	(1)外部委託の拡大
	施設管理課長 小林 徹雄	- 法令 等				(m)		(回)		(回)			.,,,,,,,	説明標 の要望	欄: 河川、水路に 望として清掃、草X 、外部委託により智	切り、浚渫、補値	等が		説明欄: 河川、水路については、市民7 の要望として清掃、草刈り、浚渫、補修等			
				手!	段 普通河川における清掃、草刈、浚渫、	- Labor	平成24年度		平成24年度			平成24年度	24年度 平成24年度 平	平成24年度	後も存	存続する必要がある 物占用料を充当して	る。事業費の一部		变 —	平成24年度 後も右	続する必要がある。事業費の一部に、 占用料を充当している。	
14-01-05		財源	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内?	整微な補修を実施した。	河川、水路延長	13,810	清掃回数、草刈 回数	48	清掃回数、草 刈回数	48	11,818	948	12,766	3					11,818		
	普通河川維持管理事業	B-	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)				(m)		(回)		(回)								_			
	*	車業	□ 直営(委託無) ■ 全部委託		意図 河川、水路等の機能、安全性及び美観		平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	年度	平成23年	度 —	平成23年度				
		形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	意[の確保を行う。		13,810		41		41	9,736	1,028		54					9,736		
			□ その他()	_			(m)		(回)		(回)				26年度	度以 - 田北州 - 田	27年度以 現場			26年月	6年度以 田址研址 27年度以 田址研址	説明欄:
	施設管理課 管理調整担当		□ 自主的 ■ 義務的 □ 努力義務 □ (市) 公共物管理条例		象・自然物 (河川、水辺) の利用者		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	降方向	向性 現仏維持	降方向性 切り	維持 平成25年	要	^{平成25年度} 降方[内性	
	施設管理課長	根拠 一法令 等			手段 ・条例に基づく占用許可 内容		47,338		(14-)		680	0	3,245	3,245	説明欄			等の		0 説明#	E 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 1: 市民の財産を守るための工作物等の	
	小林 徹雄	┦"					平成24年度		平成24年度		平成24年度	亚成24年度	亚成24年度	正成24年度	ある。	占用であり、市(ネ 。 また、条例に基づ する河川、水路を原	づく事業であり、	市の		ある。	;用であり、市(河川管理者)の責務で また、条例に基づく事業であり、市の `る河川、水路を原状に復旧させること	
14-01-06		財酒	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全名			河川、水辺の		上田弥可由諸州	+	占用料	667	1 10021-100	1 100	1 1002-1-100	_ により 欠であ	り安全、快適に維持 ある。なお、H24年	寺するために必動	不可		により 欠であ	安全、快適に維持するために必要不可 る。なお、H24年度に占用料の見直し	
			□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			延長	(m)	数	(件)		(千円)	0	4,107	4,107	を行っ	った。				0 を行っ	<i>た</i> 。	
	河川占用許可事務		■ 直営(委託無) □ 全部委託				平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	度	平成23年		平成23年度				
		事業形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	意[47,338	_	16		721				1				1			
		אינו	□ その他()		確実に徴収する		(m)		(件)		(千円)	0	4,452	4,452	2					0		
	施設管理課		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務				平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度			27年度以 降方向性 現状	維持 平成25年	説明欄:	平成25年度 降方		説明欄:
	管理調整担当	根拠	荒川水系新河岸川並びに、新河岸川支川 域における住民の生命と財産を守ること	п	第一新河岸川水系改修促進期成同盟会		1		4		4	10	99.4	0.05		性 4 有効性 3 3	達成度 3 効率	± 3	1	必要性	4 有効性 3 達成度 3 効率性 3	
	施設管理課長 小林 徹雄	等	目的として結成されている。			英 河 臣 川 小 3	(団体)		(回)	国、都、国会 4 議員への要請 行動	(回)	13	324	337	「説明欄:新河岸川水系改修促進期成同盟会に加入団体(埼玉県下10市1町、東京都下3市)による共同歩調運営にて、河川氾濫、強度水による災害を防止、河川改修事業の早期達し成要望、河川改修による水辺環境整備の早期	下3		13 説明欄:新河岸川水系改修促進期成同盟会は加入団体(埼玉県下10市1町、河東河部第3				
				手			平成24年度		平成24年度			平成24年度	平成24年度	平成24年度		期達 平成24年	度	平成24年度 水によ	:よる共同歩調運営にて、河川氾濫、溢 る災害を防止、河川改修事業の早期達 !、河川改修による水辺環境整備の早期			
14-01-07		財源	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内容		对何年川不宗 改修促進期成 同盟会	山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山	国、都、国会議 員への要請行動	4			21	237	258	実現等を要望する同盟会であり、当市単独での改善・改革の全地は無い、事業费の一		独で		放安室、刊川以修による水辺環境整幅の早界 実現等を要望する同盟会であり、当市建独で の改善・改革の余地は無い。事業費の一部 に、道路占用料等が充当されている。			
	新河岸川水系改修(進期成同盟会参画)	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)						(回)		(回)				に、道路占用料等が充当されている。			K-, A				
	務		□ 直営(委託無) □ 全部委託				平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	Ē			平成23年	变	平成23年度		
		事業 形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	意	・河川氾濫、溢水による災害を防止・河川改修事業の早期達成要望		1		4		4	21	257	278	3					21		
			■ その他(負担金)				(団体)		(回)		(回)				20年月	ræ ty	07年年以		30 8 日本間 ·	26年1	57左座N	説明欄:
	施設管理課 管理調整担当	1 1	■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務 東京都内における総合的な治水対策を推		東京都総合治水対策協議会		平成25年度	-	平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度		度以 現状維持			<u>\$</u>		度以 可性 27年度以 降方向性 現状維持	DUSTING.
	施設管理課長	根拠	することを目的として結成されている。	_	+		1		4		4	50	892	942	,	性 4 有効性 3 i 欄:東京都総合治力				50	4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 1: 東京都総合治水対策協議会は、東京	
	小林 徹雄	寺			・ブロッカ代表孝仝落へ出席		(団体)	-	(回)	-	(回)				都と区る協議	区市町村56団体で 議会であり、東京都	で共同歩調をと 都内における総合	てい 的な	_	都と区る協議	市町村56団体で共同歩調をとってい 会であり、東京都内における総合的な	
14. 01. 00		D. YE	ㅁ 쇼葯챼메 ㅁ ㅡ하남마ㅎ ■ +^ㅎ	— ∵	手段 ・総合治水推進週間行事へ参画 ・幹事会へ出席	東京都総合治	平成24年度	総合治水推進行	平成24年度	総合治水推准		度 平成24年度 平	半成24年度	平成24年度	対策に	対策の推進のため <i>の</i> について住民の関心 るための行事を実施	心を高め、理解	協力	<u>艾</u>	平成24年度 治水対策の推進のための計画策定、総合治水 対策について住民の関心を高め、理解と協力 を得るための行事を実施しており、当市単独		水 力
14-01-08		-	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全名 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)	- 1	・幹事会へ出席・協議会へ出席	水対策協議会	(団体)	事	4 (回)	行事	(回)	50	790	840	でのみ	改善・改革の余地に 道路占用料等が充当	ナ無い 主要書の			50 に、道		
	東京都総合治水対策 協議会参画事務	R	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		+		平成23年度	_	平成23年度			平成23年度	平成23年度		-		平成23年	\$23年度	平成23年度			
		事業	□ 一部委託 □ 補助·助成金	意	・東京都内における総合的な治水対策 の推進 図・総合治水対策において住民の関心を		1 70204/2	1	1 1225-12		1 7020-18	1 M20 TR	变 平成23年度	1 207/8	度	1 19,204	1	. MEN I DE				
		形態	■ その他(負担金)	100	高め、理解と協力を得るための行事を実施		(団体)		(🗉)		(回)	50	857	907	7					50		
L			_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			<u> </u>	(' ' '	l			1							

平成26年度事務事業評価表(平成25年度振り返り)

政策名	政策名 地球環境にやさしいまち				施策番	号·名	14 水と緑にふれあうまちづくり							基本事業番号·名 14		-01	水辺環境の保全と活用				
	所管課係名		事務事業の概要			対象技									事務事業全体			一般則	オ源分		
事務事業	所管課長名 事務事業名				事務事業の目的	(対象の数値	直指標化)	(手段の数値	指標化) 数値指標			事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等		特定財源に伴う一般財源		一般財源		全庁評価会議 (27年度に向けた
番号		(根拠法令等、財源、上乗、形態)		上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値(単位)	指標	実績値(単位)	指標	実績値 指標 (単位)		② (千円)	①+②			事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	方向性等)
	施設管理課下水道計画係		■ 自主的 □ 義務的		対象 水路		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性 現状維持 降方向	度以 句性 現状維持	平成25年度	説明欄:国補助率は補助基本額のの1/2(水路改	平成25年度	26年度以 27年度以 降方向性 降方向性	説明欄:
		根拠	下水道法第1条、第3多 備計画	条、社会資本総合整	整		2,060		1,840		89	70.056	9.710	3,718 73,774	必要性 4 有効性 4 達成度	E 4 効率性 4		修) 1/3 (景観区域)。 都補助率は補助基本額の 2.5%		必要性 有効性 達成度 効率性	
	施設建設担当課長 池上 浩一	等			(m)		(m)		(%)	70,056	3,710 73,77	15,114	説明欄: 平成19年度からAソーンの整備を開始し、平成25年度でAゾーンの整備が終了し		45,715	45,715 2. 5%		説明欄:			
					手段	親水化事業区間	平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	北側のCゾーンの整備180mに	また、新たに平成25年度から新所沢街) DCゾーンの整備180mに着手した。良∮ 型環境の創造や浸水被害の解消等のまっ	平成24年度		平成24年度		
14-01-09		財源	□ 全額補助 ■ 一部補				2,060	親水化整備済延 長	化整備済延 1,650	黒目川上流域 親水化整備率 (%)	80	46,074		40 200	づくりの整備に市が関与す	るのは妥当であ	32,167				
	黒目川上流域親水化	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・	•横出)			(m)		(m)		(%)	46,074	2,314	2,314 48,388 23年度 平成23年度	る。なね、国政争来は平成21 予定である。		52,167				
	事業		□ 直営(委託無) □] 全部委託	近年下水道の役割として新たに求めら 意図 れている良好な水環境の維持・回復を 積極的に果たしていく。		平成23年度		平成23年度		平成21年度	平成23年度	平成23年度				平成23年度	平成23			
		事業 形態	■ 一部委託 □] 補助・助成金			2,060		1,470		71	25,908	908 1,301 27,20				17,897				
			□ その他()			(m)		(m)		(%)	29,000	1,501	27,200			11,031				